

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成30年11月1日（木）

【報告事項】

1 平成30年福岡県殉職警察職員慰霊祭の実施について

（警務部）

警察本部から「11月9日、福岡県警察学校において「平成30年福岡県殉職警察職員慰霊祭」を実施する。同慰霊祭には、遺族会会長及び同会員のほか、知事、県議会議長、公安委員長等の出席を予定している。」旨の報告があった。

2 平成30年度福岡県警察逮捕術大会の実施について

（警務部）

警察本部から「11月6日、福岡武道館において、平成30年度福岡県警察逮捕術大会を開催する。警察本部及び警察署等から43チームが出場しての団体戦及び女性警察官の個人戦を実施する。」旨の報告があった。

3 平成30年度第2四半期（7～9月）における監察実施結果について

（警務部）

警察本部から「平成30年度第2四半期において、警察本部及び警察署等の15所属に対して総合監察を、また、警察署、交番等に対して計187回の随時監察を実施した。総合監察の良好事項としては、職場と家庭のつながりの醸成に向けた取組及び他県事例を踏まえた殉職・受傷事故防止対策があり、指導事項としては、交通切符等の管理不徹底、随時監察の指導事項としては、受傷事故防止資機材の保管管理不十分があった。」旨の報告があった。

公安委員から「受傷事故防止資機材を活用した訓練は行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「教養課術科指導員が中心となり、交番に勤務する地域警察官に対する実戦的な受傷事故防止訓練を行っている。」旨の説明があった。

公安委員から「先日、宮城県において、勤務中の警察官が殉職された交番を視察し、殉職事故はあってはならないものだとして改めて痛感した。引き続き、殉職事故の絶無に向けた取組をお願いする。」旨の発言があった。

4 医薬品医療機器法違反事件の検挙について

（生活安全部）

警察本部から「うきは警察署及び生活経済課は、インターネットの販売サイトで、厚生労働大臣の承認を受けていない医薬品をカプセルタイプの精力増強剤等として広告した医薬品医療機器法違反事件について、サイバーパトロールを端緒とした各種捜査を行い、10月16日、大分県国東市安岐町居住のアルバイトの男性ほか1名を検挙した。」旨の報告があった。

公安委員から「インターネットの発展により、犯罪もグローバル化しており、今後、益々犯罪が巧妙化していくことから、同種事案の対策をしっかりとお願いする。」旨の発言があった。

公安委員から「サイバーパトロールは、どのように実施しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「警察本部及び警察署の捜査員が、専用端末を使用し、インターネット上のパトロールを行い、違法・有害情報の把握、これらの排除に向けた活動及びサイバー犯罪の検挙に努めている。」旨の説明があった。

5 福岡県及び福岡市との違法民泊対策等に関する協定の締結について

(生活安全部)

警察本部から「福岡県及び福岡市と県警察が、相互の情報共有、緊密な連携体制の構築等により、違法民泊の排除の徹底を図り、民泊の適正な運営を確保することを目的として、福岡県及び福岡市それぞれと協定を締結した。今後、あらゆる警察活動を通じて把握した民泊情報を県及び市に提供するとともに、再三の行政指導に応じない等悪質な違法民泊業者に対し、事件化を含め、厳正に対処する。」旨の報告があった。

6 暴力団対策の推進状況について（1～9月）

(暴力団対策部)

警察本部から「主な検挙対策として、五代目工藤會傘下組織組長らを福岡県迷惑行為防止条例違反事件で逮捕したほか、主な暴力団排除施策として、五代目工藤會総本部事務所等に対する事務所使用制限命令の延長を行った。今後とも、未解決重要凶悪事件の徹底検挙及び事件検挙と連動した暴力団排除施策を強力に推進する。」旨の報告があった。

公安委員から「薬物事犯の検挙人員に占める暴力団員等の割合は、どのくらいか。」旨の発言があり、警察本部から「平成29年中の薬物事犯の検挙人員に占める暴力団員等の割合は、約7割である。引き続き、各種事件に対する突き上げ捜査を徹底し、暴力団の関与を明らかにしていく。」旨の説明があった。

7 交通事故の発生状況等について（1～9月）

(交通部)

警察本部から「交通事故の発生状況は、前年同期比で減少したが、道路横断中の死者数は増加しており、その中でも高齢者の占める割合が極めて高くなっている。今後、道路横断中の交通事故抑止対策の強化や高齢歩行者に対する反射材用品の着用率向上に向けた取組等を推進していく。飲酒運転事故の発生状況は、発生件数・検挙件数ともに減少しているものの、酒酔い、高濃度アルコール保有者の事故が多発しており、今後、飲酒運転を目撃した場合の通報意識を高める取組や飲酒運転周辺者三罪等に対する捜査を強化していく。交通違反の検挙状況は、全体として減少しているが、最重点罪種である横断歩行者等妨害や重点罪種である信号無視等の検挙が増加しており、PDCAサイクルに基づいた交通指導取締り及び可搬式速度違反自動取締装置による速度超過の取締りを推進していく。」旨の報告があった。

【その他の報告事項】

警察本部から「昨日で、県内4地区の地区別警察署長会議が終了した。来週の5日は、秋の勲章伝達式、6日は、福岡県警察逮捕術大会を開催する。」旨の報告があった。

